

# 「今、読みたい…！」 に 寄り添う AI

～最新の視覚サポート機器が丹波篠山に～

目を閉じてみてください。視覚以外の感覚が研ぎ澄まされます。遠くや近くから聞こえる音。肌で感じる風向きや温度。そして香り。もし、そこが慣れ親しんだ場所であれば、目を閉じたまま場所や物を把握することができるかもしれません。しかし、新しい場所や新しい物がある環境で、同じように目を閉じたらどうでしょうか？今回は、視覚障がい者の生活を補助する、最新の小型AI機器についてご紹介します。



## 知ってほしい 視覚障がいの世界

目の不自由な方に、あなたならどのようなサポートをしますか？「他の人と同様に、もし不安そうにしていたら声をかけてほしい。障がいは特別なものではなく個性です」と話される酒井智彦さんと東田英子さん。お二人は現在、視力がありません。しかし、顔が一人一人違うように声もみな違うので、声で人の判別ができ、声の遠い近いで発言者の位置や、身長まで分かるそうです。交差点も、車の通り抜ける音の動きなどで青信号かどうか判断されます。普段から、映画館や料理を楽しまれている話も聞きました。

ただ、点字ブロックの上には立っている人や置かれた荷物、駐輪位置からはみ出した自転車、不規則な人の動きなどは気付くことが困難です。また、サポートの際、一声なく突然手足をとられると恐怖を覚えるので、一声だけ声かけをしてほしいと話されました。

社会のルールを守ること、そして一声かけることが、十分なサポートになります。

## 最新小型サポートAI が誕生

平成30年秋、1000円ライターくらいの大きさで、自分の眼鏡に取り付けて使用できる最新小型AI機器が登場しました。「オーカムマイリーダー2」と、その上位モデル「オーカムマイアイ2」です。これまでも類似道具はありましたが、ブラウン管テレビほどの大きさで、重量もあるものでした。さて、今回誕生した機器の魅力は、形状だけではありません。まず、使用方法ですが、機器の真ん中あたりを指で「トントン」と触り、合図をすると、先端についているカメラで目の前の活字資料を撮影します。情報を読み込む時間は数秒程度。その後、滑らかな発音で音声を読み上げてくれます。読み上げ終了時には「チ」と呼び鈴のような音が鳴ります。縦書き・横書きどちらでも対応し、英語も読み上げます。資料が多少傾いていても、読み取ってくれます。写真を撮影した場合は、写真の状況説明をしてくれます。上位モデルは、身の回りの人や物の名前を音声で登録することで、目の前の人や物の名前を教えてくれる機能もあります。

機器は、充電式で軽量です。少し練習をすれば、日常に溶け込みそうです。

文字の読み上げ機能

+顔や物の認識、お札や色の識別が可能！

## オーカムマイリーダー2・オーカムマイアイ2

目の不自由な人や視覚障がいのある人が、新聞、本、メール、その他あらゆる文章を読み取ることを可能にする最先端 AI 技術を活用した補助デバイスです。



### 指さしするだけの簡単動作！

電源を入れ、見たい方向や物を指さす（または本体にタッチする）だけ！読み取った情報が音声で流れます。

### お気に入りのめがねに取り付け可能！

重量は約22.5gで、大きさは約76×21×14.9mmです。お手持ちの眼鏡に簡単取り付け。取り外しも簡単で、どこにでも持ち運べます。充電式です。

これからも、障がいのある方が必要とされている用具を積極的に制度に追加し、ニーズに応じた給付ができるように努めていきます。  
社会福祉課 中川敬市



できることは自分でやりたいと思っています。挑戦したいことはマラソン！コロナ禍が終わったらぜひ走りたいです。  
酒井智彦さん



この機器を活用される方々が、ワンアップした生活ができる未来を感じました。

ライター 三和久実花さん

家ではとんかつを揚げるなど料理を楽しんでいます。もし、外で困っている様子でしたら、一声かけてくれたらうれしいです。  
東田英子さん



## 市が購入費用を助成

「オーカムマイリーダー2」と、その上位モデル「オーカムマイアイ2」は非常に便利な道具なのですが、定価が24万8000円、49万8000円と大変高額です。そこで、丹波篠山市視覚障害者福祉協会の辻本一郎会長と酒井さんが立ち上がり、昨年2月、市長も交えてこれらの機器の体験会を実施しました。参加者に大好評だったことを受け、今年4月から、購入費の一部助成が実現しました。

## 未来 小型AI機器がもたらす

酒井さんは「会合で配られた資

## 必要に応じた支援用具を 給付します

市では、障がいのある方などがより良い日常生活を送れるよう、障がい者等日常生活用具給付事業を行っています。

給付品目 療育支援用具、盲人用体温計、入浴補助用具、つえ、特殊寝台など



詳しくは市ホームページをご覧ください



料の内容を、その場で読める」東田さんは「スーパーで値札を、自分で確認できる」と、この機器に利便性を強く感じておられます。また、届いた郵便物をすぐに確認できること、時刻表が分かること、出先でポスターの内容が分かること、役所での手続きも自分でできるものが増えそうなど、家でも外でも活用の幅が広がると話をされていました。

お二人は、「文字の読み上げは、家族やヘルパーさんに頼りがちだが、人にお願することに申し訳なさも感じています。自分でできることは自分でやりたい」と心のうちを話されていました。この小型AIなら、そんな心の葛藤にも寄り添ってくれそうです。

2 ▶ 7 特集  
8 ▶ 9 街かど  
リポート  
10 ▶ 11 コロナウイルス  
感染症対策  
12 ▶ 21 タウン  
トピックス  
22 ▶ 25 市政  
リーダー  
26 ▶ 27 ささやま  
ホット  
ステーション  
28 ▶ 29 はぐくみ  
30 ▶ 33 施設  
情報  
34 ▶ 39 インタ  
ビュー